

私たちの

青森県の未来を ごみだらけに しないでください。

さらなる3Rの推進!

Reduce -リデュース-
ごみの発生抑制

Reuse -リユース-
再使用

Recycle -リサイクル-
再生利用

青森県のごみ処理に
使われる税金は…

年間約 **213** 億円超
(平成27年度)

県民1人1日当たり
のごみ排出量は…

全国 **43**位

リサイクル率は…

全国 **42**位

リサイクル率の上昇幅は全国1位!
(平成27年度)

もうひとふんばり!

県民1人1日当たりのごみ排出量

※1 1,026g → **980g** ※2

リサイクル率

※1 15% → **25%** ※2

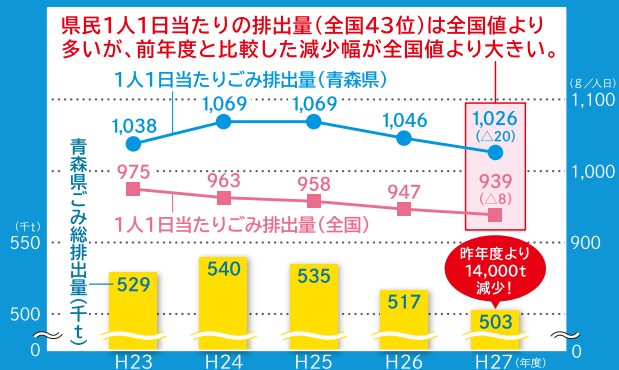
をめざす!

※1:平成27年度
※2:平成32年度目標

「もったいない」の意識で
ごみの減量とリサイクル率向上

毎日、何気なく捨てている「ごみ」。私たちはいったいどのくらいの量を捨てているのか、考えたことがありますか? まずは、私たちの住む青森県の現状についてお話しします。青森県の家庭や職場から出るごみ(一般廃棄物)の量は、最新の実績(平成27年度)で503,390t、県民1人1日当たりのごみ排出量に換算すると1,026gで前年度より20g減少し、減少幅が全国5位となっています。また、処理されたごみのうち、どれくらいの量がリサイクルされたかを示すリサイクル率は15%で前年度より1.5ポイント増加し、上昇幅が全国1位となっています。これらのごみ排出量、リサイクル率の改善は、県民の皆さまの3Rのご理解と実践の成果です。しかし、県民1人1日当たりのごみ排出量は全国43位で、家庭から出る「生活系ごみ」、会社や商店、職場から出る「事業系ごみ」ともに全国値を上回っています。また、青森県内の家庭から出る可燃ごみの約5割が生ごみで、そのうち約3割がまだ食べられるのに捨てられている食品、いわゆる「食品ロス」となっています(平成25年度の調査)。リサイクル率は全国42位で、資源化量

■ごみの総排出量と県民1人1日当たりの排出量の推移



の内訳を見ると特に紙ごみが全国値の約7割しかリサイクルされていません。資源としてリサイクルできるはずの紙ごみが燃えるごみとして処理されています。ごみ排出量、リサイクル率ともに着実に改善していますが、県が目標値(平成32年度)として掲げる「県民1人1日当たりのごみ排出量980g、リサイクル率25%」の達成には、県民の皆さまのさらなる3Rの実践が必要です。次世代の子どもたちに豊かな自然環境に恵まれた青森県を引き継いでいくために、「もったいない」の意識を持ってごみの減量とリサイクルに取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。